

【1】テント



(2005 年度運動会にて活用)



(2005 年度学校祭にて活用)

1995年10月27日～29日、本校は（クォーターイヤーを特別に重視するドイツの習慣に倣い）創立25周年を大々的に祝った。これに先立つ8月19日（土）、東京は虎ノ門パストラルホテルに127名もの同窓生が集まり13時から同窓会の設立総会が開かれ、初めて正式な同窓会が発足し新役員が決まった。そして14時からの母校創立25周年祝賀パーティーには同窓生だけでなく嘗ての教職員、理事、保護者の方々も参集、何と752名もの参加者で大変な熱気に包まれた。この催しにはデュッセルドルフから岡田事務局長と中嶋副教頭も出席し、伊藤真（まこと）同窓会初代会長（第3期生）から本校への記念品である「テント」の目録が事務局長に手渡された。因みにこの時のテント代は24万2千円、運送費は17万8千円であった。

爾来このテントは初期の意向通り主として「学校祭」で活用されてきたが、創立 35 年目の 2005 年度の運動会は初めて本校独自の主催となり（その前年日本クラブから長年続いた共催がクラブ側の事情により出来なくなったという通知があり）本校のグラウンドで 7 月 9 日（土）に行われた。このとき寄贈のテントが本部席用に活用された。

右の写真は 1995 年（JISD 創立 25 周年記念年）8 月 19 日、虎ノ門パストラルホテル（当時）で行われた同窓会発足と祝賀会に、デュッセルドルフから駆け付けた岡田裕事務局長に、伊藤真同窓会初代会長から寄贈「テント」の目録が手渡されたところ。



【2】ドラムセット



写真は 2004 年 11 月、本校体育館でルクセンブルクからの児童合唱団との交流音楽会でも活用。

同窓会が出来て 3 年目の 1998 年 8 月に第 2 回総会が同じ虎ノ門パストラルホテルで開かれた。この時本校ではウインドアンサンブル部（旧器楽部）の活動が東（ひがし）一郎先生の熱心な指導で大変活況を呈し 60 名を越える部員になり楽器不足に困っていた。この窮状を中村勉第 10 代校長（当時）（1995/4～1999/3）から聞き知った同窓生は上記総会の席上直ちに募金を募ったところ 9 万 1 千円以上が集まり母校に送金、お蔭様で 1500 マルクのドラムセットを購入する事ができて、爾来（じらい）学校祭やウインドアンサンブルなどで活用されている。

【3】屋外時計



2005年7月9日運動会の朝撮影

2001年は創立30周年の記念の年（木野和也第11代校長）であったがその8月、生徒数減少のため（710名）ランカー校舎の中学部が小学部校舎に18年ぶりに再統合された年でもあった。東京では第3回同窓会総会と懇親会が8月19日（日）に恵比寿のピアホール「フェストブロイ」で540名の出席者を得て盛大に開かれた。この時本校から中庭の大時計が壊れてしまったという知らせを聞いた同窓生達は前回と同様早速募金活動を行った結果、10万7千円近くも集まり、同窓会ではこの募金額に更に8万円の補助金を出して支払ってくれた。贈呈式は2001年9月28日（金）の創立30周年記念祝賀会（小ホール）の席上、同窓会を代表して駐在先のロンドンから来校された長富悦史さん（8期生）から祝辞と一緒に「目録」が手渡された。この時計は校庭とタータンランドの間の斜面に立てられ、両面から見える他に夜も文字盤が明るいため、日本クラブ所属の運動クラブが本校体育館を夜活用する際などにも役立っている。